

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-073048

(43)Date of publication of application : 12.03.2002

(51)Int.Cl.

G10K 15/02

G06F 17/60

G10H 1/00

(21)Application number : 2000-264122

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 31.08.2000

(72)Inventor : ASAI TAKAHIRO

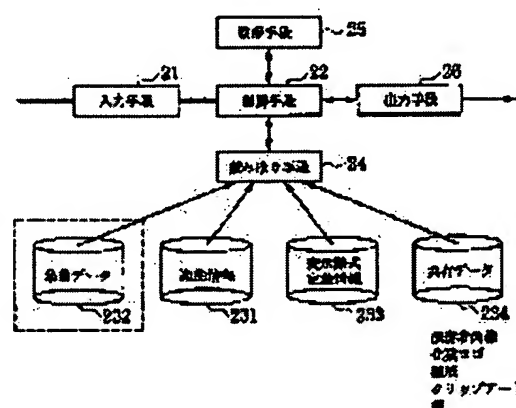
(54) SYSTEM AND METHOD FOR SUPPLYING INFORMATION ON MUSICAL COMPOSITIONS, AND RECORDING MEDIUM WITH THE METHOD RECORDED THEREON

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system and a method for supplying information on musical compositions by which the information on musical compositions associated with one or more musical compositions such as lyrics and singers can efficiently supplied to a recipient, and advertising information associated with the information on musical compositions can effectively supplied to the recipient.

SOLUTION: Identification information on one or more musical compositions such as the title of a musical composition is inputted by the recipient of the information on musical compositions. One or more information on musical compositions 231 associated with the inputted musical composition are shaped by a

shaping means 25 for display in an appropriate layout, and information on musical compositions after shaping is outputted. The shaping means 25 shapes and outputs information on musical compositions in various layouts by using definition information 233 on a display mode such as a layout, or shared data 234 such as a player image. Thereby, the information on musical compositions can be obtained in a desired mode as packed data, without editing it as conventional.



(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード (参考)
G10K 15/02		G10K 15/02	5B049
G06F 17/60	ZEC	G06F 17/60	5D378
	302		302 E
	326		326
	332		332

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全12頁) 最終頁に続く

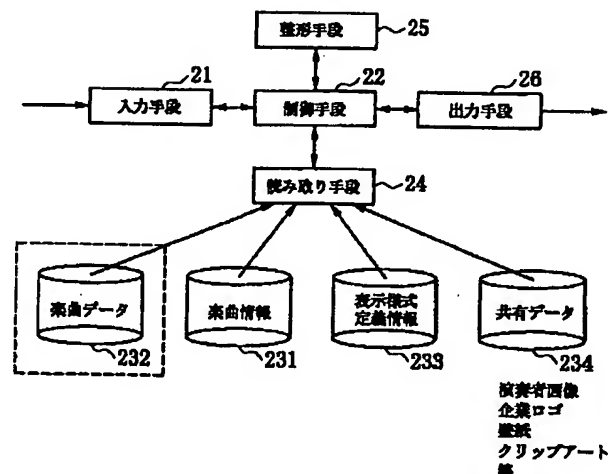
(21) 出願番号	特願2000-264122 (P 2000-264122)	(71) 出願人	000006747 株式会社リコー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
(22) 出願日	平成12年8月31日 (2000.8.31)	(72) 発明者	浅井 貴浩 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式 会社リコー内
		(74) 代理人	100077274 弁理士 磯村 雅俊 (外1名) Fターム(参考) 5B049 BB11 BB49 CC02 CC08 CC36 DD01 DD05 EE01 FF03 FF04 FF09 GG04 GG07 5D378 QQ03 QQ06 QQ08 QQ38 TT08 TT25 TT32 XX43

(54) 【発明の名称】 楽曲情報供給システムおよび楽曲情報供給方法、ならびに該方法を記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 1つ以上の楽曲に関連づけられた歌詞、歌手等の楽曲情報を効率的に受給者へ供給し、楽曲情報に関連づけられた広告情報を効果的に受給者へ供給することが可能な楽曲情報供給システムおよび楽曲情報供給方法を提供すること。

【手段】 楽曲情報受給者から1つ以上の楽曲の識別情報、例えば楽曲の題名などを入力させ、入力された楽曲に関連づけられた1つ以上の楽曲情報231を整形手段25で表示用に適切なレイアウトに整形し、整形後の楽曲情報を出力する。整形手段25は、レイアウトなどの表示様式定義情報233や演奏者画像などの共有データ234を用いて多様なレイアウトに整形して出力する。これにより、楽曲情報を従来のように編集することなくひとまとめのデータとして所望の様式で得ることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータシステムにより楽曲情報の供給を行なう楽曲情報供給システムであって、情報受給者に対し、1曲あるいは複数の楽曲の識別情報の入力を促す手段と、楽曲情報保持手段と、楽曲情報を読み出す手段と、読み出された楽曲情報の整形手段と、整形された楽曲情報の出力手段を備えることを特徴とする楽曲情報供給システム。

【請求項2】 請求項1記載の楽曲情報供給システムにおいて、さらに表示様式定義情報を保持する表示様式定義情報保持手段と該表示様式定義情報保持手段から読み出す手段を具備し、前記楽曲情報の整形手段は、読み出された表示様式定義情報に従って整形を行なうことを特徴とする楽曲情報供給方法。

【請求項3】 請求項2記載の楽曲情報供給システムにおいて、さらに情報受給者に対し表示様式定義情報の選択を促す手段を具備し、前記楽曲情報の整形手段は、情報受給者により選択された表示様式定義情報に従って楽曲情報の整形を行なうことを特徴とする楽曲情報供給システム。

【請求項4】 請求項1から3のいずれか1項に記載の楽曲情報供給システムにおいて、さらに楽曲情報に共通の文字または画像を保持する記憶手段と、該記憶手段から文字または画像を読み出す手段を具備し、前記楽曲情報の整形手段は、楽曲情報の一部または全ての内容に関連づけられた楽曲情報に共通の文字または画像を利用して整形を行なうことを特徴とする楽曲情報供給システム。

【請求項5】 請求項1から4のいずれか1項に記載の楽曲情報供給システムにおいて、前記楽曲情報の整形手段は、楽曲の記録メディアの種類に従って選択した表示様式定義情報を利用して整形することを特徴とする楽曲情報供給システム。

【請求項6】 請求項1から5のいずれか1項に記載の楽曲情報供給システムにおいて、さらに楽曲情報の一部または全ての内容に関連づけられた広告情報を記憶する手段と、該手段から前記広告情報の読み出す手段を具備し、前記楽曲情報の整形手段は、読み出された広告情報と楽曲情報を同時に表示することにより、広告情報を提供することを特徴とする楽曲情報供給システム。

【請求項7】 請求項6記載の楽曲情報供給システムにおいて、さらに楽曲情報の表示回数をカウントする手段を具備し、該手段によりカウントされた表示回数に基づいて広告主に課金することを特徴とする楽曲情報供給システム。

【請求項8】 コンピュータシステムにより楽曲情報の供給を行なう楽曲情報供給方法であって、情報受給者に対し、1曲あるいは複数の楽曲の識別情報の入力を促すステップと、入力された識別情報に基づいて楽曲情報を読み出すステップと、読み出された楽曲情報を整形する

ステップと、整形された楽曲情報を出力するステップを有することを特徴とする楽曲情報供給方法。

【請求項9】 請求項8記載の楽曲情報供給方法において、さらに表示様式定義情報保持手段から表示様式定義情報を読み出すステップと、読み出された様式定義情報に従って整形を行なうステップを有することを特徴とする楽曲情報供給方法。

【請求項10】 請求項9記載の楽曲情報供給方法において、さらに情報受給者に対し表示様式定義情報の選択を促すステップと、情報受給者によって選択された表示様式定義情報に従って楽曲情報の整形を行なうステップを有することを特徴とする楽曲情報供給方法。

【請求項11】 請求項8から10のいずれか1項に記載の楽曲情報供給方法において、さらに楽曲情報の一部または全ての内容に関連づけられた楽曲情報に共通の文字または画像を利用して整形を行なうステップを有することを特徴とする楽曲情報供給方法。

【請求項12】 請求項8から11のいずれか1項に記載の楽曲情報供給方法において、さらに楽曲の記録メディアの種類に従って選択した表示様式定義情報を利用して整形するステップを有することを特徴とする楽曲情報供給システム。

【請求項13】 請求項8から12のいずれか1項に記載の楽曲情報供給方法において、さらに楽曲情報の一部または全ての内容に関連づけられた広告情報と楽曲情報を同時に表示して広告情報を提供するステップを有することを特徴とする楽曲情報供給方法。

【請求項14】 請求項13記載の楽曲情報供給方法において、さらに楽曲情報の表示回数をカウントするステップと、カウントされた表示回数に基づいて広告主に課金するステップを有することを特徴とする楽曲情報供給方法。

【請求項15】 請求項8から14のいずれか1項に記載の楽曲情報供給方法を実現する各ステップをプログラムコード化して記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータシステムを利用した楽曲情報供給技術に関し、さらに詳しくは、1つ以上の楽曲に関連づけられた歌詞、歌手等の楽曲情報を効率的に受給者へ供給する方法と、楽曲情報に関連づけられた広告情報を効果的に受給者へ供給する楽曲情報供給システムおよび楽曲情報供給方法ならびに該方法を記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、楽曲の販売はレコード、カセット、コンパクトディスク、ミニディスク等のメディアでなされてきた。楽曲の供給者は、アナログまたはデジタルのデータをこれらのメディアに記録し、受給者はこ

これらのメディア購入後、専用のプレーヤーにセットし、記録されたデータを再生することで楽曲を聞く。

【0003】こうした従来の販売方式は、流通のタイムラグや、コストの問題から見直され、合理化がなされてきている。現在では、これらの従来の販売方法に加え、インターネット等のネットワークを利用する音楽配信システムが実用化されつつある状況である。音楽配信システムの特許にUSP 5,914,941号がある。楽曲の供給者はネットワーク上のサーバに楽曲を蓄積し、受給者はサーバから自分のコンピュータやプレーヤーに楽曲を転送するなどして楽曲を聞く。

【0004】こうした音楽配信システムにより、流通のタイムラグやコストは小さくなり、さらに、従来の販売方法で一般的に行なわれている数曲単位での一括購入ではなく、1曲単位で購入するなど販売形態が変化してきている。

【0005】ところで、レコードやコンパクトディスク等の従来のメディアには、ほぼ必ず、楽曲に付随する情報を記録した紙メディア、いわゆるジャケットやライナーノートと呼ばれるものが付属している。楽曲の受給者、すなわちレコードやコンパクトディスクの購入者は、この紙メディアにより題名や演奏者、歌詞等の楽曲情報の詳細を知ることが可能であった。

【0006】音楽配信システムにより1曲単位で様々な楽曲を購入した場合のジャケットやライナーノートを印刷するための発明として、特開平11-202855号公報に提示されたものがある。この発明によれば、1曲の楽曲情報を印刷することが可能である。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、音楽配信システムを利用する楽曲購入者の多くは、ダウンロードした様々な曲を順序等を工夫しながら自分の志向に合わせて編集し、ミニディスクやCD-Rシステムを利用して、従来から販売されている音楽用メディアに記録して楽しむ場合がほとんどである。この場合、歌詞等の楽曲情報を含むライナーノーツは1曲毎に独立したものである。メディアに記録された複数曲をひとまとめに編集されたものの方がより望ましい。特開平11-202855号公報記載の発明では、こうした編集を自分で行なう必要があり、手間がかかる。

【0008】一方、従来よりレコードやコンパクトディスクの販売店には、演奏者の新曲の発売を知らせるポスターやちらし等の広告用印刷物が置かれている場合が多い。これらの印刷物は消費者の目に触れる機会が多いものの、内容に興味のない消費者にも同様に見せているため効率がよいとは言えない。

【0009】本発明の目的は、上記問題点を解消することであり、具体的には各請求項は次の点を目的としている。すなわち、

(1) 請求項1, 8記載の発明は、楽曲情報を従来のよ

うに編集することなくひとまとめのデータとして得ることを目的としている。

(2) 請求項2, 9記載の発明は、同一の楽曲情報から様々な表示用データを得ることを目的としている。

(3) 請求項3, 10記載の発明は、情報受給者が楽曲情報の表示様式を任意に選択できるようにすることを目的としている。

【0010】(4) 請求項4, 11記載の発明は、楽曲情報を様々な表示用データデザインで得ることを目的としている。

(5) 請求項5, 12記載の発明は、従来のように編集することなく記憶メディアのパッケージに最適な表示データを得ることを目的としている。

【0011】(6) 請求項6, 13記載の発明は、効果的かつ効率のよい広告媒体の提供を行なうことを目的としている。

(7) 請求項7, 14記載の発明は、広告の表示回数に基づく公正な課金方法を提供することを目的としている。

(8) 請求項15記載の発明は、上記方法を実現する各処理をプログラムコード化した記録媒体を提供することを目的としている。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記問題を達成するために、次のような手段を具備している。すなわち、

(1) 請求項1, 8記載の発明にあつては、コンピュータシステムにより楽曲情報の供給を行なうために、楽曲情報受給者に1つ以上の楽曲の識別情報、例えば楽曲の題名などの入力进行を促し、入力された楽曲に関連づけられた1つ以上の楽曲情報を表示用に整形し、整形後の楽曲情報を出力するようにしている。これにより、楽曲情報を従来のように編集することなくひとまとめのデータとして得ることができる。

【0013】(2) 請求項2, 9記載の発明にあつては、さらに表示様式定義情報に従って1つ以上の楽曲情報の整形を行なうようにしている。これにより、同一の楽曲情報から様々な表示用データを得ることができる。

【0014】(3) 請求項3, 10記載の発明にあつては、さらに情報受給者に対し、表示様式定義情報の選択を促し、選択された表示様式定義情報に従って楽曲情報の整形を行なうようにしている。これにより、情報受給者が楽曲情報の表示様式を任意に選択できる。

【0015】(4) 請求項4, 11記載の発明にあつては、さらに楽曲情報の一部または全ての内容に関連づけられた楽曲情報に共通の文字や画像を利用して整形を行なうようにしている。これにより、楽曲情報を様々な表示用データデザインで得ることができる。

【0016】(5) 請求項5, 12記載の発明にあつては、さらに楽曲の記録されるメディアの種類に従って表

示様式定義情報を選択して最適に楽曲情報を整形するようにしている。これにより、従来のように編集することなく記憶メディアのパッケージに最適な表示データを得ることができる。

【0017】(6)請求項6, 13記載の発明にあっては、さらに楽曲情報の一部または全ての内容に関連づけられた広告情報と楽曲情報を同時に表示することにより、広告情報を提供するようにしている。これにより、効果的かつ効率のよい広告媒体の提供を行なうことができる。

【0018】(7)請求項7, 14記載の発明にあっては、さらに楽曲情報の表示回数をカウントし、表示回数に従って広告主に課金するようにしている。これにより、公正な課金が可能になる。(8)請求項15記載の発明にあっては、上記方法を実現する各処理をプログラムコード化してCD-ROM、DVDなどの記録媒体に記録することにより、本発明を市場に広く流通させることができる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、実施例を通して本発明を詳細に説明する。図1は、本発明に係る楽曲情報供給システムの構成例を示す図である。同図において、サーバ11は、ルータ12と呼ばれる経路制御装置を介し、専用線や公衆電話回線を通じてネットワーク13に接続されている。各コンピュータ等の端末(ターミナル)14は、サービスプロバイダ15と呼ばれる接続業者を通じてネットワーク13に接続されている。インターネットへの接続を提供する接続業者をISP(Internet Service Provider)と呼ぶ。各端末14とサービスプロバイダ15との接続は主に公衆電話回線などが用いられる。ネットワーク13には、無線を利用する携帯端末16、すなわち携帯電話やPDA(Personal Digital Assistant)等も同様に接続される。この図において、サーバ11は、端末14や携帯端末16のソフトウェア的なデータリクエストに答えるコンピュータであり、物理的な場所に関係するものではない。

【0020】図2は、サーバ11の構成を示す図である。同図において、図1で示されるネットワーク13に接続された端末4からのデータリクエストは、入力手段21により制御手段22に送られる。制御手段22はコンピュータの演算制御部分であり、CPU(中央演算装置)やメモリ等の部品により構成され、ソフトウェアにより駆動される。コンピュータは2次記憶装置23を有し、その2次記憶装置23には楽曲情報が保持されている。同じサーバ11の2次記憶装置23に、楽曲情報231と楽曲データ232の両方が保持されている場合もある。

【0021】ここでいう同じサーバとは概念的なものであり、楽曲情報231と楽曲データ232の両方が物理的に同じ2次記憶装置23にない場合もある。2次記憶

装置へのネットワーク経由のアクセスも含まれる。2次記憶装置23に保持されている楽曲情報231は、読み取り手段24により制御手段22へ読み込まれる。整形手段25は制御手段22から呼び出される機能である。整形手段25は、ハードウェアで実装されている場合と、ソフトウェアで実装され制御手段22のソフトウェアの一部として構成される場合がある。整形手段25により整形されたデータや、制御手段による端末へのデータ要求等は、出力手段26によりユーザの端末へ送られる。

【0022】まず、本発明の請求項1, 8の動作概要について説明する。図3は、本発明に係る楽曲情報供給システムの処理フローチャート例である。今、ユーザがある楽曲の歌詞等の楽曲情報を入手したいとする。ユーザは端末14(または携帯端末16)を操作して、サーバ11へのアクセスを要求する(ステップS100)。アクセス要求を受けたサーバ11は、まずユーザの端末14(または携帯端末16)に対し送るべき楽曲情報を検索するために、あらかじめそれぞれの楽曲に一意に定義された楽曲固有のID情報の入力を得なければならない。このとき、ユーザによる楽曲IDの直接入力も可能であるが、楽曲IDは制御手段22により内部的に使用されるものであるため、ユーザにはわかりにくい場合がある。

【0023】この問題を解決するために、サーバ11は、ユーザが楽曲IDを知ることなく楽曲IDを入力できるような検索手段を有してもよい。検索手段を有するサーバの場合、アクセス要求を受けたサーバは、楽曲IDの入力を促す代わりに検索方法決定の画面をユーザの端末14(または携帯端末16)に表示する(ステップS101~S103)。図4は、検索方法決定の画面の例を示す図である。検索方法には、曲名による検索、演奏者による検索等がある。

【0024】検索は、ユーザにより入力された検索キーと呼ばれる情報と、1つ1つの楽曲情報に含まれる情報とを照会し、検索キーがマッチするものを探し出す作業である。図5は、楽曲情報の構成の例を示す図である。1つ1つの楽曲情報は、楽曲毎に楽曲IDにより管理される。1つの楽曲情報は、楽曲の曲名、演奏者、作曲者、作詞者、発売日、発売元、著作権情報等、その楽曲に関する様々な情報を含んでいる。楽曲情報に含まれるあらゆる情報、曲名や演奏者等の情報を検索キーに指定できる。本実施例では曲名での検索を例に説明する。

【0025】ユーザが曲名による検索方法を選択すると、サーバはユーザの端末に曲名の入力を促す画面を表示する。曲名の入力は曲名そのものの入力の他、曲名の最初の文字から数文字、文字列の部分マッチ等、一般的な検索ソフトウェアで採用されている様々な検索方法を利用することができる(ステップS104~S106)。

【0026】文字列の部分マッチを行なった、あるいは同じ曲名で複数の曲が存在する等の理由により、楽曲を1つに絞り込むことが不可能である場合は（ステップS107：Y、ステップS108：N）、サーバはユーザの端末に楽曲の選択を促す画面を表示する（ステップS109）。楽曲の選択を促す画面の例を図6に示す。図6の例では、“タイトル1”という同じ曲名をもつ楽曲情報が3曲見つかったことを示している。最終的に、ユーザが自分が求めている楽曲情報を選択することで、間接的にサーバに楽曲IDを知らせることができる（ステップS110）。

【0027】上述の手順は、ユーザが求める曲数が複数である場合は、ステップS111からステップS101に戻り、求める楽曲の数だけ繰り返し行なわれる。このように、サーバはユーザの求める楽曲IDを直接あるいは間接的に得ることができる。

【0028】サーバはユーザの選択した楽曲を、ユーザの端末に表示する。表示画面の例を図7に示す。ユーザは楽曲を確認した後にダウンロードのためのリクエストをサーバへ送信する。

【0029】ユーザからのダウンロードのためのリクエストを受信したサーバの制御手段22は、リクエストされた1つまたは複数のそれぞれの楽曲の楽曲情報のうち、曲名、歌詞、演奏者等の必要な情報を読み出す（ステップS112、113）。読み出された楽曲情報は、本発明の特徴である整形手段へと送られる。整形手段は、制御手段から送られる楽曲情報のそれぞれの項目について、あらかじめ決められた整形方法により幾何学的配置を行ない、表示用のデータを作成する（ステップS114）。

【0030】読み出される楽曲情報と整形方法はどのようなものでも構わないが、ここでは一例として、“曲名”、“演奏者”、“歌詞”を整形し、曲順に表示する方法を示す。まず、リクエストを受けた制御手段は曲番号の割り付けを行なう。曲番号はリクエストされた楽曲のそれぞれに曲順に対応する1, 2, 3, ..., n, ..., Nの数字である。次に図5に示される楽曲情報から1曲目の曲名を抽出する。同様に、演奏者名、歌詞を抽出する。リクエストされた楽曲全てについて、この作業を行なう。次に曲番号に対応した曲目、演奏者名、歌詞を表示用に幾何学的に配置する。配置の方法はどのように行なってもよい。例として、曲順の右横に曲名と演奏者名（アーティスト名）、その下に歌詞といった配置を行なうとすると、最終的な表示は図8に示すものとなる。表示される項目間の空白の大きさや禁則処理等も整形手段により決定される。

【0031】整形手段により作成された表示のためのデータは、出力手段によりネットワークに送信され、最終的にユーザの端末へと到達する（ステップS115）。ここで、表示用データの形式は、ユーザが端末で使用す

る表示用プログラムが表示可能なものであればどのようなものでもよい。例えば、現在広く利用されているHTML（Hyper Text Markup Language）、Postscript、ビットマップ各形式等が利用可能である。

【0032】ユーザの端末に到達した表示用データは、表示用プログラムにより表示される。表示される画面は図8のようなものとなる。ユーザはこのデータを保存したり、印刷したりするなどして、いつでも必要なときに参照することができる。本発明の特徴は、複数の曲の楽曲情報が1つのデータに整形されることが挙げられる。このため、整形方法を工夫することにより、ユーザが編集することなく曲番を表示したりすることが可能となっている。なお、ステップS107で登録済みの楽曲IDが見つからない場合は、その旨のエラーメッセージを送信して（ステップS116）、処理を終了する（ステップS117）。

【0033】次に、請求項2, 9の発明について詳細に説明する。図9は、請求項2, 9の発明の構成を示す図である。請求項2, 9の発明は、図1に示される請求項1, 8の発明の構成に「表示様式定義情報233」を追加したものである。表示様式定義情報とは、表示用データの作成、つまりレイアウト処理に関するパラメータを定義している情報である。表示様式定義情報は、処理系により“スタイルファイル”、“スタイルシート”、“レイアウトファイル”などと呼ばれることもある。

【0034】例えば、楽曲情報の構造がXML（eXtensible Markup Language）形式ファイルで構成されている場合に、対応するXSL（eXtensible Stylesheet Language）あるいはCSS（Cascading Style Sheet）形式ファイルが表示様式定義情報にあたる。図10は、表示様式定義情報の例を模式的に示した図である。表示様式定義情報にはパラメータの実際の数値が定義されている。

【0035】次に、請求項2, 9の発明の動作概要について説明する。整形手段25による表示データの作成以外の動作は、上述した請求項1, 8の発明の動作概要と同様のため省略する。請求項2, 9の発明においては、整形手段25は、表示すべき楽曲情報の表示様式を決定するために、表示様式定義情報233を読み出し手段24により読み出す。整形手段25は、読み出された表示様式定義情報233に記述されたパラメータ値に従って、送られた楽曲情報を整形し、表示用データを作成する。

【0036】例えば、図10に示す表示様式定義情報により整形された表示用データは、図11のようになる。図10には“body”が一つしか記述されていないが、実際の表示様式定義情報には、楽曲が複数になったときのbodyの繰り返しに関する記述があるため、表示データを問題なく作成可能である。

【0037】請求項2, 9の発明の特徴は、表示様式定義情報233を変化させることにより、同じ楽曲情報か

ら様々な表示用ファイルを作成できる点である。例えば、図10で示される表示様式定義情報を、図12で示される表示様式定義情報に変更すると、整形後の表示用データは図13のように変化する。これにより、同じ楽曲情報を利用して様々な様式の表示用データを得ることができる。

【0038】例えば、表示様式定義情報を多数種類用意し、楽曲情報の一部、例えば演奏者、発売元、演奏ジャンル等を利用して表示の様式を決定したり、ランダムに表示様式定義情報を選択し、表示の様式をリクエスト毎に変化させたりといった方法が考えられる。

【0039】次に、請求項3、10の発明について説明する。請求項3、10の発明は、請求項2、9の発明における「表示様式定義情報233」の選択を、ユーザ自身が行なうことができる点が特徴である。サーバ11は、図14に示されるような複数種類の表示様式定義情報の選択画面をユーザの端末に送信し、ユーザは表示された選択画面から好みの表示様式を選択し、サーバ11へリクエストを送る。サーバ11の整形手段25はリクエストに従って表示様式定義情報を選択し、それによ

って整形を行なう。

【0040】次に、請求項4、11の発明について説明する。図15は、請求項4、11の発明の構成を示す図である。楽曲情報は楽曲毎に独立したデータであるが、請求項4、11の発明において、サーバは楽曲に共有されるデータ（共有データ234）を保持している。共有データ234は、演奏者の画像や、発売元企業のロゴ画像、いわゆる壁紙と呼ばれる文字の背景用の画像、クリップアートなどからなる。整形手段25は、整形作業の際に、この共有データを参照することができ、参照した共有データの配置に関する情報は表示様式定義情報に記述される。例えば、表示用データの背景として、演奏ジャンル毎に決まった壁紙を付加したり、演奏者を表示する際に演奏者の画像を付加したりといったことが可能となる。

【0041】次に、請求項5、12の発明について説明する。表示用データを印刷して利用する際に、メディア毎に利用しやすいサイズや配置がある。例えば、ユーザがCD-Rメディアに記録した数曲の楽曲に関する楽曲情報を印刷する場合、CD-Rメディアを収納するケースに合わせたサイズで印刷することが出来れば、CD-Rメディアと同じケースに収納することが出来るため、使い勝手がよい。ミニディスクやテープ等でも同様に、ケースに合わせた印刷を行なえることが望ましい。

【0042】請求項5、12の発明においては、整形手段25はユーザの利用するメディアに従って表示様式定義情報233を選択することが特徴である。メディア情報の取得は、請求項3、10の発明と同様にユーザに選択画面を表示して記録メディアの選択を促す方法と、記録メディアの専用レコーダからの要求であれば、専用レ

コーダから直接メディア情報が送信される方法とがある。いずれかの方法により、サーバが記録メディアの情報を取得し整形手段25へと送る。整形手段25はメディアの情報に従って、表示様式定義情報を選択する。

【0043】例として、コンパクトディスク（CD-R）メディア用の表示様式定義情報を図16に示す。図16の例では、横方向に連続した1辺12cmの正方形内に楽曲情報を配置する。左の正方形はコンパクトディスクの表ジャケットとなるべきページであり、タイトルが表示される。右の正方形は楽曲情報の表示ページである。楽曲が複数の場合には右のページが連続して表示される。ユーザはこの表示データを印刷し、必要であれば切り抜き作業を行なうことで、記録メディアと同じケース内に、印刷された楽曲情報を収納することが可能となる。ミニディスクやテープ等のメディアについても同様に表示様式定義情報を作成することができる。

【0044】次に、請求項6、13の発明について説明する。請求項6、13の発明において、楽曲情報や共有データに広告データが保持されている。表示様式定義情報233には楽曲情報表示領域2331の他に、広告表示領域2332が定義されている。広告表示領域2332が定義された表示様式定義情報の例を図17に示す。制御手段22は、ユーザからの楽曲情報のリクエスト内容と、楽曲情報の一部あるいは全部を利用して広告を抽出し、整形手段25へと送る。

【0045】広告の抽出は、例えば以下のような手順で行なわれる。ユーザがある演奏者1の曲目1の楽曲情報をリクエストした場合、制御手段22は演奏者1に関連する広告を検索する。

【0046】まず、演奏者1の新曲の発売予定に関する広告を検索し、ヒットした場合はその広告を整形手段25へ送る。ヒットしなかった場合、演奏者1の過去に発売された曲に関する広告を検索し、ヒットした場合はその広告を整形手段25へ送る。ヒットしなかった場合、演奏者1の契約している企業の広告を検索する。ヒットした場合はその広告を整形手段25へ送る。このように、広告は重要度により順序づけされ、検索は順序に従って行なわれる。これにより、ある楽曲情報をリクエストしたユーザに対し、最も効果的な広告をユーザの端末に表示することが可能となる。もちろん重要度による順序づけをなくし、ランダムに広告を表示することも可能である。また、常に一定の広告を表示することも可能である。

【0047】整形手段25は受けとった広告データを、定義された広告表示領域2332へ配置し、表示用データを生成する。生成される表示データの例を図18に示す。図18の例では、楽曲情報の表示の最後に広告表示領域2332を設け、ユーザがリクエストした“アーティスト1”の新曲の発売日に関する広告を表示している。

【0048】このように、請求項6、13の発明により、サーバはユーザがリクエストした楽曲情報と関連する広告を楽曲情報と極近い場所に表示することができる。これは、ユーザが楽曲情報を参照する度に広告を目にする機会を設けることを意味し、従来のポスターや宣伝用ちらしのような印刷物と比較して、高い広告効果を生じることが可能である。また、表示される広告はリクエストされた楽曲情報と関連が深いものであるため、ユーザの興味を引くことができ、さらに高い広告効果を得ることができる。

【0049】次に、請求項7、14の発明について説明する。請求項7、14の発明において、広告それぞれに対応するカウンタが備えられている。請求項6、13の説明に記載された手順で広告がユーザの端末へ送信が行なわれた際に、カウンタ値は制御手段により1増やされる。すなわち、広告をシステムに保持するために登録したときのカウンタ値と当該広告が削除されるときのカウント値の差分は、登録から削除までの期間に当該広告がユーザの端末へ送信された回数を示す。例えば、ある広告をシステムに登録したときのカウンタ値が0であり、削除されるときのカウント値が100であった場合、当該広告はユーザの端末へ100回送信されたことを示す。

【0050】請求項7、14の発明において、広告の表示に対する広告主への課金は、当該広告のカウント値に従って行なわれる。例えば、ある広告の表示費用を、一回の送信につき0.5円と定めるとすると、1000回のダウンロードが行なわれた場合、 $0.5 \times 1000 = 500$ となり500円が広告主に課金される。広告主への課金は、広告の登録されていた総表示期間ではなく、ある期間毎に区切って行なわれてもよい。例えば3ヶ月間登録される広告の課金を1ヶ月毎に行なう等である。

【0051】また、広告表示領域により課金単位を操作することができる。例えばある広告の表示領域がある別の広告の表示領域の半分の面積である場合、ダウンロード1回に対する課金も半分の金額にする等の操作である。請求項7、14の発明によれば、広告毎にカウンタ値を設けることでユーザへの送信回数に対応する課金を広告主に対して行なうことが可能であり、公正な課金方法を得ることができる。

【0052】次に、請求項15の発明について説明する。請求項15の発明においては、請求項8～14の発明における各処理ステップをプログラムコード化してCD-ROMやハードディスク、DVD、FDなどの記録媒体に記録する。この記録媒体を市場に流通させる。楽曲情報供給業者はこの記録媒体に記録されたプログラムをサーバ装置に読み込むことで本発明に係る楽曲情報供給方法を用いて楽曲情報を提供することができる。なお、ハードディスク、CD-ROMやDVD、FDなどの記録媒体ではなく、インターネットなどを介して本発

明に係る楽曲供給方法を実現するプログラムを楽曲供給業者のサーバ装置、サーバ装置からアクセス可能であるネットワーク上の2次記憶装置にダウンロードする方法も可能である。

【0053】

【発明の効果】本発明の各請求項は次のような効果を奏する。

(1) 請求項1、8記載の発明によれば、複数の楽曲情報を整形することにより、従来のように編集することなくひとまとめのデータとして得ることが可能となる。

(2) 請求項2、9記載の発明によれば、表示様式定義情報を変更することにより、同一の楽曲情報から様々な表示用データを得ることが可能となる。

(3) 請求項3、10記載の発明によれば、情報受給者が楽曲情報の表示様式を選択することが可能となる。

【0054】(4) 請求項4、11記載の発明によれば、楽曲情報以外に共有データを利用することにより、様々な表示用データデザインを得ることが可能となる。

(5) 請求項5、12記載の発明によれば、あらかじめ定義された記憶メディア毎に異なる表示様式に従って楽曲情報を整形することにより、従来のように編集することなく記憶メディアのパッケージに最適な表示データを得ることが可能となる。

【0055】(6) 請求項6、13記載の発明によれば、情報受給者に送信する楽曲情報に加えて、楽曲情報に関連する広告を表示用データに組み入れることにより、効果的かつ効率のよい広告媒体の提供を行なうことが可能となる。

(7) 請求項7、14記載の発明によれば、広告の表示回数に基づく公正な課金方法を提供することが可能となる。

(8) 請求項15記載の発明によれば、請求項8～14記載の発明を広く市場に流通させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る楽曲情報供給システムの構成例を示す図である。

【図2】請求項1、8におけるサーバの構成例を示す図である。

【図3】本発明に係る楽曲情報供給システムの処理フローチャート例である。

【図4】検索方法決定インターフェース画面の例を示す図である。

【図5】楽曲情報の構成の例を示す図である。

【図6】複数の曲名から一つの楽曲の選択を促す画面の例を示す図である。

【図7】ダウンロード用画面の例を示す図である。

【図8】リクエストされた曲順に、“曲名”、“演奏者名”、“歌詞”を整形した例を示す図である。

【図9】請求項2、9におけるサーバの構成例を示す図である。

【図 10】表示様式定義情報の例を示す図である。

【図 11】図 10 で示される表示様式定義情報により整形された表示データを示す図である。

【図 12】図 10 で示される表示様式定義情報とは別の表示様式定義情報の例を示す図である。

【図 13】図 11 で示される表示様式定義情報により整形された表示データを示す図である。

【図 14】表示様式情報選択画面の例を示す図である。

【図 15】請求項 4, 11 におけるサーバの構成例を示す図である。

【図 16】コンパクトディスクメディア用表示様式定義情報の例を示す図である。

【図 17】ページ末尾に広告表示領域が定義された表示様式定義情報の例を示す図である。

【図 18】ページ末尾に広告を追加した表示用データの例を示す図である。

【符号の説明】

11 : サーバ、

12 : ルータ、

13 : ネットワーク、

14 : 端末、

15 : サービスプロバイダ (ISP)、

16 : 携帯端末 (携帯電話、PDA など)、

21 : 入力手段、

22 : 制御手段、

23 : 2 次記憶装置、

231 : 楽曲情報、

10 232 : 楽曲データ、

233 : 表示様式定義情報、

2331 : 楽曲情報表示領域、

2332 : 広告表示領域、

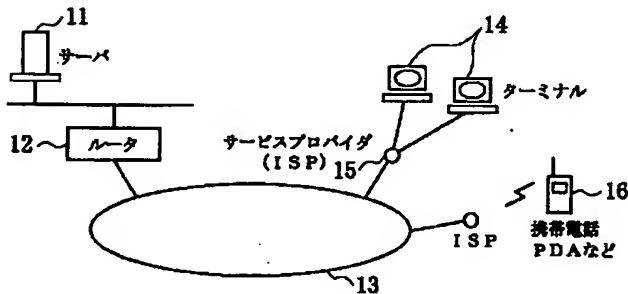
234 : 共有データ (演奏者画像、企業ロゴ、壁紙、クリップアートなど)、

24 : 読み取り手段、

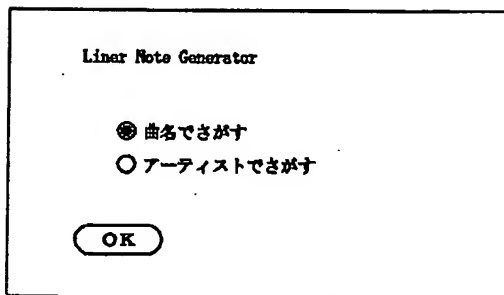
25 : 整形手段、

26 : 出力手段。

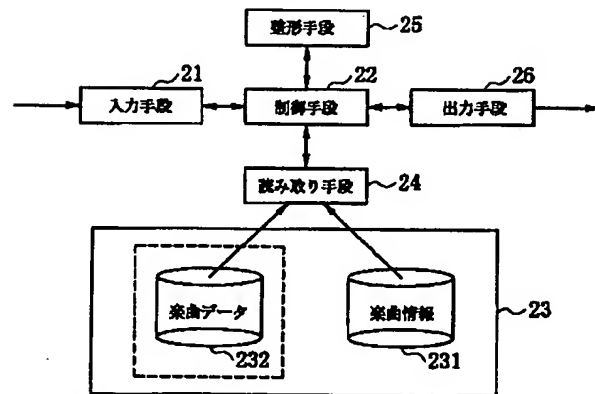
【図 1】



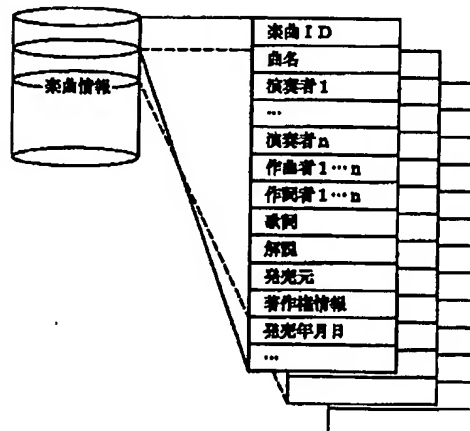
【図 4】



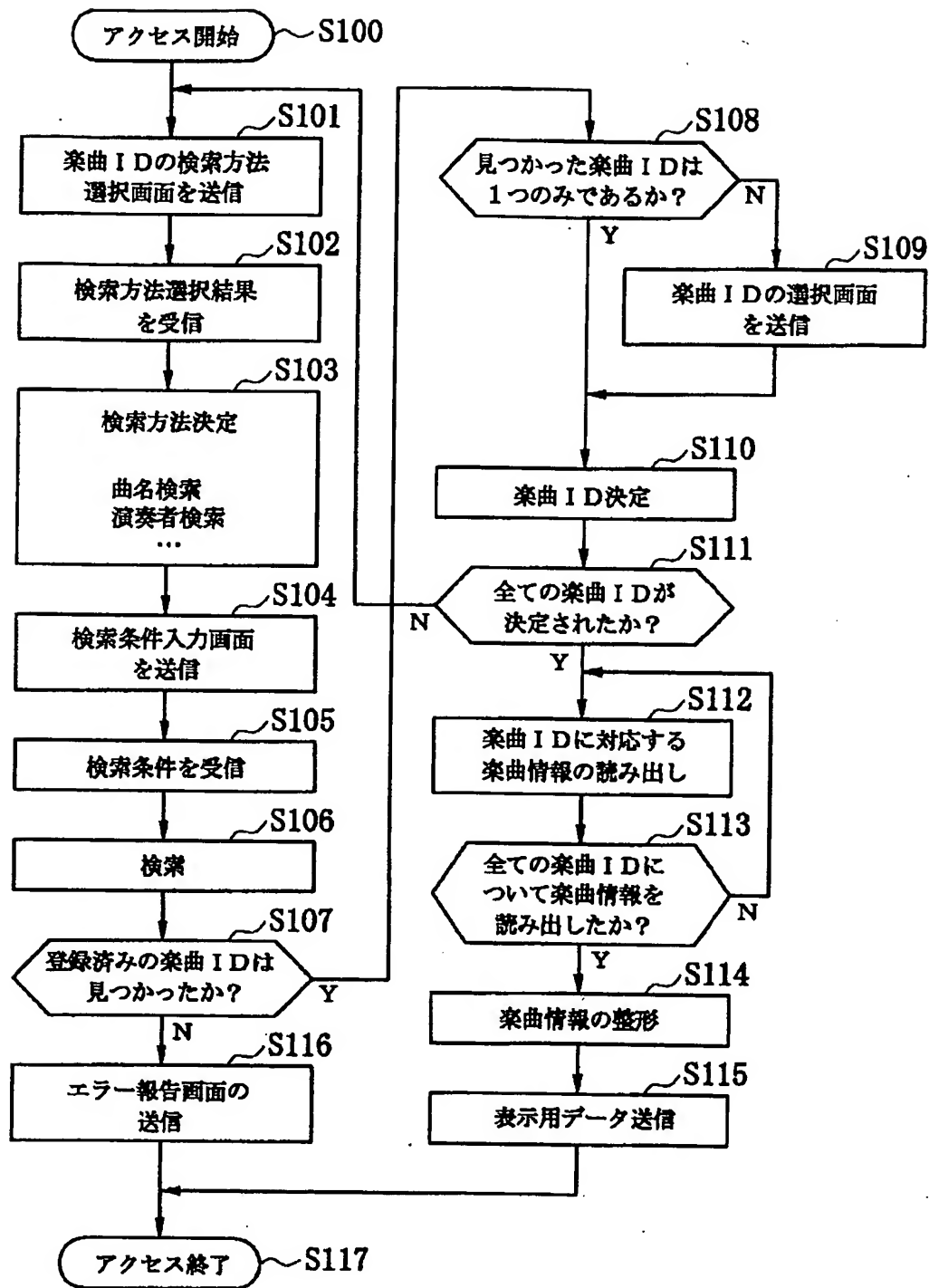
【図 2】



【図 5】



【図 3】



【図 6】

Liner Note Generator

複数の曲が見つかりました。
曲を選択してください。

タイトル1 (アーティスト1)
タイトル2 (アーティスト2)
タイトル3 (アーティスト3)

OK もどる

【図 7】

Liner Note Generator

以下の3曲をダウンロードします。
よろしいですか？

タイトル1 (アーティスト1)
タイトル2 (アーティスト1)
タイトル3 (アーティスト3)

OK 曲の追加 もどる

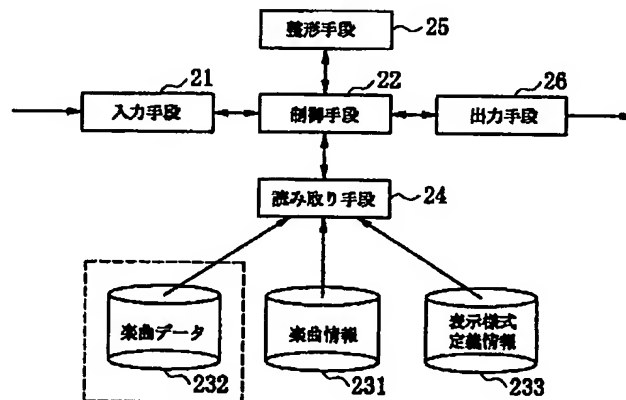
【図 8】

1. タイトル1 アーティスト1
... (歌詞1).....
.....
.....
.....

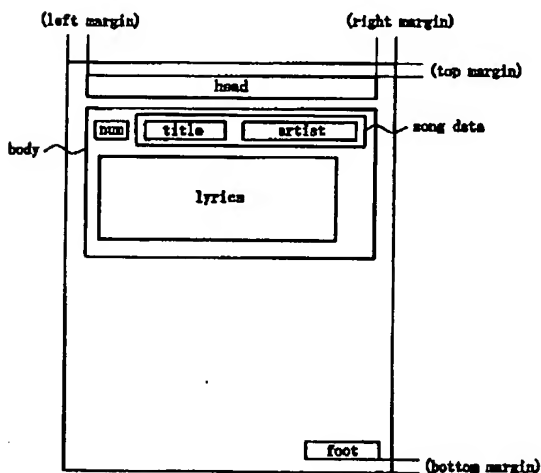
2. タイトル2 アーティスト1
... (歌詞2).....
.....
.....
.....

2. タイトル3 アーティスト3
... (歌詞3)..... ページ1

【図 9】



【図 10】



【図 11】

1. タイトル1 アーティスト1
... (歌詞1).....
.....
.....
.....

2. タイトル2 アーティスト1
... (歌詞2).....
.....
.....
.....

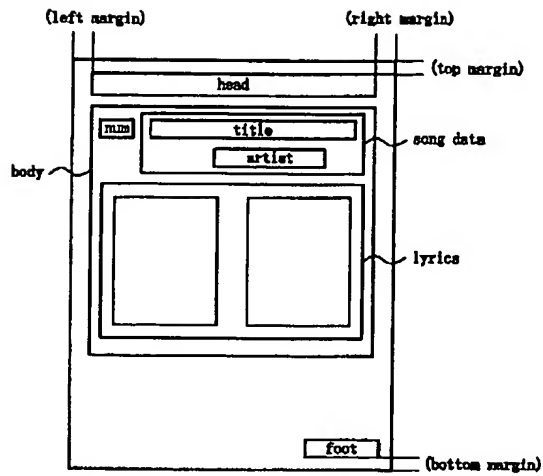
2. タイトル3 アーティスト3
... (歌詞3)..... ページ1

【図 13】

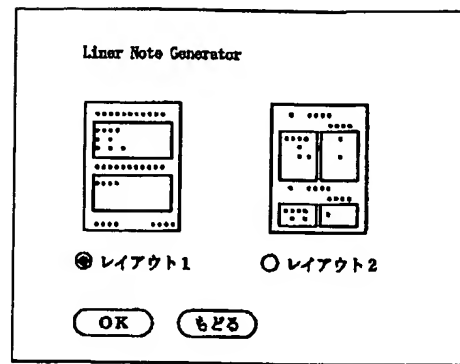
1. タイトル1
アーティスト1
(歌詞1).....
.....
.....
.....
.....

2. タイトル2
アーティスト1
(歌詞2).....
.....
.....
..... ページ1

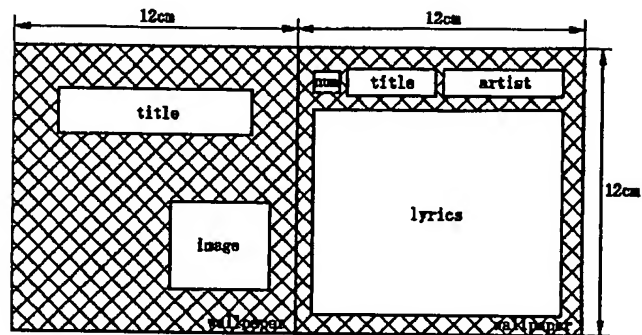
【図 12】



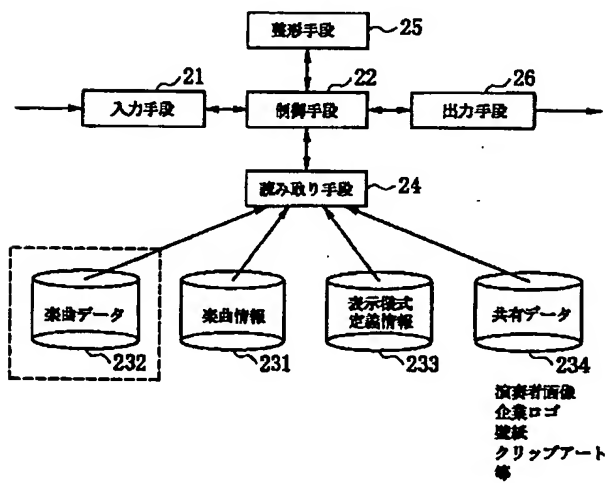
【図 14】



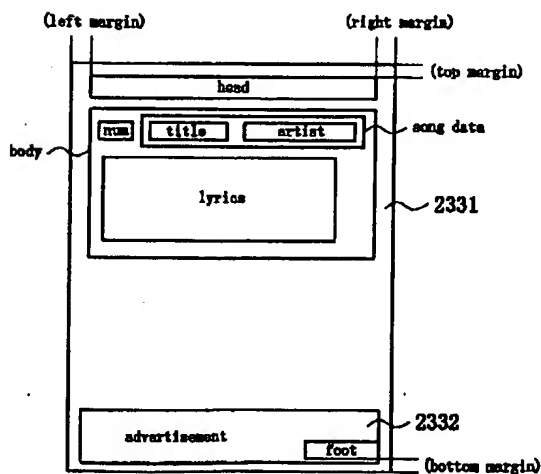
【図 16】



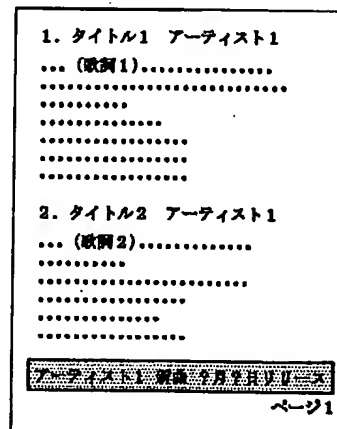
【図 15】



【図 17】



【図 18】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

G 1 0 H 1/00

識別記号

F I

G 1 0 H 1/00

テーマコード (参考)

Z